

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	歴史総合	
科目基礎情報							
科目番号		0017		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		電気情報工学科		対象学年		1	
開設期		通年		週時間数		2	
教科書/教材		『明解歴史総合』（帝国書院）					
担当教員		赤崎 雄一					
到達目標							
1. 近代の日本を含めた世界の歴史・文化を理解し、国際化社会に対応した教養を身につける（A）							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
世界各地域の歴史を理解する		世界各地域の歴史を理解できる		世界各地域の歴史を基本的に理解できる		世界各地域の歴史を理解できない	
世界各地域の文化を理解する		世界各地域の文化を理解できる		世界各地域の文化を基本的に理解できる		世界各地域の文化を理解できない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		近代の日本史、世界史の大きな流れを学ぶ。					
授業の進め方・方法		プリント、視聴覚教材を利用した講義を行い、最後に授業のまとめの問題を解かせる。					
注意点		日頃から新聞、ニュースを見るようにすること					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	各地域の諸文明とその結びつき		授業内容を理解できる		
		2週	アジアの中の江戸幕府		授業内容を理解できる		
		3週	清の繁栄と結びつく東アジア		授業内容を理解できる		
		4週	イギリスの革命		授業内容を理解できる		
		5週	アメリカの独立		授業内容を理解できる		
		6週	フランス革命		授業内容を理解できる		
		7週	フランス革命の影響と国民意識の芽生え		授業内容を理解できる		
		8週	産業革命		授業内容を理解できる		
	2ndQ	9週	これまでのまとめ		授業内容を理解できる		
		10週	イギリスの繁栄と国際分業体制		授業内容を理解できる		
		11週	イタリアとドイツの統一とロシアの改革		授業内容を理解できる		
		12週	アメリカの拡大と第2次産業革命		授業内容を理解できる		
		13週	帝国主義と西アジアの変化		授業内容を理解できる		
		14週	南・東南アジアの植民地化		授業内容を理解できる		
		15週	試験返却・解説		授業内容を理解できる		
		16週					
後期	3rdQ	1週	ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争		授業内容を理解できる		
		2週	黒船の来航と江戸幕府の滅亡		授業内容を理解できる		
		3週	近代国家を目指す日本		授業内容を理解できる		
		4週	日本と清の近代化と日清戦争		授業内容を理解できる		
		5週	列強の中国進出と日露戦争		授業内容を理解できる		
		6週	ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張		授業内容を理解できる		
		7週	総力戦となった第一次世界大戦		授業内容を理解できる		
		8週	これまでのまとめ		授業内容を理解できる		
	4thQ	9週	ロシア革命とヴェルサイユ・ワシントン体制		授業内容を理解できる		
		10週	アジアの民族自決の行方		授業内容を理解できる		
		11週	ヨーロッパの復興とアメリカの繁栄		授業内容を理解できる		
		12週	日本における大衆社会の形成		授業内容を理解できる		
		13週	世界恐慌とファシズムの台頭		授業内容を理解できる		
		14週	第二次世界大戦の展開		授業内容を理解できる		
		15週	試験返却・解説		授業内容を理解できる		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。		3	
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。		3	

			近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	
			帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
			19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	

評価割合			
	試験	発表	合計
総合評価割合	90	10	100
配点	90	10	100